

## 第2学年 国語科学習指導案

公開 / 児童 1組 男16名 女12名 計28名  
指導者 佐藤 由美

1 単元名 お話、大すき

2 教材名 三まいのおふだ / こんなお話を考えた

3 単元について

(1) 指導の重点

第1・2学年の書くことの指導目標は、「経験したことや想像したことなどについて順序が分かるように語や文の続き方に注意して文や文章を書くことができるようにするとともに、楽しんで表現しようとする態度をそだてる。」である。

これを受けて、本単元では「楽しんで表現すること」「簡単な組み立てを考えてお話を書くこと」をねらいとしている。昔話を聞きお話のおもしろさを十分に味わった上で、3枚の絵をもとに、順序を考えながら、お話を組み立てて文章に表現し、自分だけの絵本を作る活動を通して、簡単な組み立てを考えながら書く力を育てたい。また、自分で考えたストーリーで登場人物の行動や心情を思い描きながら楽しく書くことを大切にしたい。

(2) 児童の実態

これまで子どもたちは、日記や朝自習の「書く活動」で、経験したことや想像したことなどについて文章を書いてきた。また、身の回りのものに目を向けて知らせたいことを学級の友だちに読んでもらうという目的意識をもって書くことや、相手意識を持って「だれに」「何を伝えるのか」を明確にして書く活動を体験してきている。

これらの学習を通して、子どもたちは、少しずつではあるが文を書くことへの抵抗は少なくなってきている。また、順序に気をつけて書いたり、順序を表す言葉を使いながら書く子も見られるようになってきた。しかし、なかなか書くことを見つけられない子や内容がふくらまない子、楽しんで書くことのできない子も見られる。

(3) 教材観・指導観

「三まいのおふだ」では、「聞いて楽しむ」ことを大事にし、イメージ豊かにお話の世界を思い描かせたい。そして自分で選んだ昔話や物語を紹介しあう学習を通して、イメージ豊かにお話を読み、ストーリーの面白さを感じ取って、絵本作り活動へとつなげていきたい。

「こんなお話を考えた」では、できた絵本を友だちやうちの人に読んでもらうという目的意識を持たせながら学習を進めていく。そして、「はじめ・なか・終わり」の簡単な組み立てを考え、自分のストーリーを楽しみ、登場人物の行動や心情を思い描きながら書くようにさせたい。

理解 児童作品例から「いつ・どこで・まわりのようす・会話文」などのお話作りのポイントがお話を生き生きとさせていることに気づかせたい。

取材 3枚の絵をよく観察させ、五感を意識しながらイメージを膨らませて、お話の順序にあわせてメモを書くことができるように支援していく。

構成 3枚の絵をどのような順序で並べるかを考えさせ、順序を意識させることにより「はじめ・なか・終わり」の構成でストーリーを考えていくことをしっかりとらえさせる。

記述 メモをもとに登場人物の行動や心情、周りの様子など想像したことを詳しく書くようにさせる。また、会話文や正しい表記の仕方についても指導していく。

推敲・評価 作ったお話を読み返し、表記の間違いや筋の通らないところを見つけ、直す習慣をつけていくとともに、友だちと互いの作品を読みあい、よいところを見つけあい自分の作品にも生かしていけるようにしたい。

4 単元の目標

絵を見て想像を広げながら読み聞かせを聞き、お話のおもしろさを味わう。

簡単な組み立てを考えてお話を書き、絵本を作る。

【関心・意欲・態度】

- ・絵を見て想像を広げながら、自分のお話を楽しんで作ろうとする。

【聞く力】

- ・教師が読むお話を、三まいのおふだがどうなるのかを聞き落とさないように興味を持って聞く。

【書く力】

- ・「はじめ・なか・終わり」の簡単な組み立てを考えてお話を書く。
- ・作ったお話を読み返し、表記の間違いや筋の通らないところをみつけたら、書き直す。

【言語の力】

- ・長音、拗音などの表記ができ、助詞「は・を・へ」を適切に使う。
- ・句読点の打ち方、かぎ（「 」）の使い方を理解して、文章の中で使う。

5 単元の指導計画・評価計画（18時間）

段階	時間	指導目標	学習内容	評価規準
理解	1	・学習計画を立てる。	・単元について知り、学習計画を立てる。	関単元の学習について知り、学習の見通しを持つことができる。
	1	・昔話を読み感想を発表しあう。	・「三まいのおふだ」の話を聞く。 ・お話の感想を発表しあう。	関お話を楽しみながら聞いている。 言お話の感想を持ち、発表することができる。
	4	・いろいろなお話を楽しむ。	・教師の読み聞かせを聞き、いろいろなお話に親しむ。 ・自分で本を探して読む。 ・心に残った本を紹介カードに書く。 ・本の紹介カードを発表する。	関お話を楽しみながら、よく聞いている。 関進んで本を読み、読書を楽しんでいる。 書読んだ本について、どんなところがよかったかをカードに書いている。 話相手にわかるように本の紹介をすることができる。
	2	・絵本作りをすることを理解する。 ・お話の書きかたを知る。	・絵本作りをすることを理解する。 ・児童作品例の表現の工夫を理解する。	関3枚の絵を見て、想像を広げながら話し合おうとしている。 関児童作品例の表現の工夫を探そうとしている。 書児童作品例からいつ・どこで・まわりのようす、会話文などのお話作りのポイントがお話を生き生きとさせていることに気づいている。
構成	1	・お話の順序を考える。	・3枚の絵を見比べ、お話の順序を考える。 ・3枚の絵を彩色しながら、イメージを広げる。	書3枚の絵を「はじめ・なか・終わり」の順序になるように展開を考えて並べることができる。 書絵を彩色しながら、「だれが」「何をしている」を考えたり、周りの様子を捉えたりする。
取材	本時 2/2	・お話メモを書く。	・絵を見て想像したことをお話メモに書く。	書絵を見ながら、「誰が」「何をしているか」を考えたり、周りの様子を捉えたりしながらメモを書いている。 書主語と述語の関係をとらえながらメモを書いている。
記述	3	・「はじめ」の場面のお話を作る。 ・「なか」の場面のお話を作る。 ・「おわり」の場面のお話を作る	・お話メモをもとに「はじめ・なか・終わり」の場面を書く。	関楽しみながらお話作りをしている。 書お話作りのポイントに気をつけながらお話を書くことができる。 書句読点の打ち方やかぎの使い方を理解し、文章の中で使っている。
推敲 評価	4	・作品を読み返し、推敲する  ・お話を絵本の形にする。  ・友だちと絵本を読みあう。	・自分の作品を読み返し、表記のまちがいや筋の通らないところを直す。 ・レイアウトを考えて、清書する。 ・後書き、書いた人の紹介、表紙を書く。 ・表紙をつけて、絵本を完成させる ・作品を読みあいよさを見つけあう。	書読み返してまちがいや筋の通らないところを見つけ直したりしている。 書絵と文の位置を考えながら、丁寧に清書している。 書教材例を参考にしたり、自分が考えた内容を付け足したりしながら、後書き、書いた人の紹介を書いている。 関絵本の完成を楽しみにしながら製本作業をしている。 書友だちの作品のよいところを一言感想のページに書くことができる。

## 6 本時の指導

### (1) 本時の目標と評価規準・支援

指導目標	評価規準	具体的評価規準		努力を要すると判断される児童への支援
		概ね満足できる(B)	十分満足できる(A)	
3枚の絵から想像したことをお話メモに書くことができる。	【書く力】 お話メモに見つけたこと、想像したことを書くことができる。	絵を見ながら気づいたことや、想像したことを書くことができる。	絵を見ながら見つけたことや、様々な視点で想像したことを書くことができる。	絵をもとに質問形式でお話のイメージを膨らませる。

### (2) 指導にあたって

本時は、お話作りの手がかりとなる絵からイメージを膨らませお話メモを書いていく時間である。児童作品例で学習したお話作りのポイントを参考にしながら、絵をいろいろな観点から見てイメージを広げるとともに、絵の中の登場人物になったつもりで目に見えない音や明るさ、季節、時間の流れ等、五感を使って書き表すことを大切にしていきたい。

### (3) 展開

段階	学習課程	学習活動	支援 指導上の留意点・評価【 】
導入  5分	課題把握	1 前時の学習をふり返る。  2 本時の学習課題をつかむ。 絵から見つけたこと、想像したことをお話メモに書こう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>前時の学習を想起させ「はじめ・なか・終わり」の構成でお話を書くことを確かめる。</li> <li>本時の課題をつかませるとともに意欲付けをする。</li> </ul>
展開	課題の追究 方法の理解  実作	3 前時に絵から見つけたことや想像したことを話し合う。 ・絵をよく観察して、見つけたことや想像したことを紹介する。 「だれが」「何をしている」場面か。 どんなものを見つけたか。 どんな会話をしているか。 どんな音やにおいなどを想像したか。  4 2枚の絵から見つけたことや想像したことをお話メモに書く。 ・お話の「なか」の場面の絵についてお話メモを書く。 ・お話作りのポイントに照らし合わせてお話メモを書き込んでいく。 ・お話メモができたなら、見直しをして書き足したいことがあれば書き足す。 ・終わったら、お話の「終わり」の場面の絵についても同様にお話メモを書く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>お話作りのポイントを参考にしながらお話メモをワークシートに書いていくことを確かめる。</li> <li>同じ絵でもひとりひとり見つけるものや、想像するものがちがうことに気づかせる。</li> <li>絵をよく観察させ、周りの様子を具体的な言葉で表現させる。</li> <li>登場人物になったつもりで、目に見えない音やにおい、触感等を想像させる。</li> <li>絵の中の見つけたものをきっかけにしてイメージを膨らませる。 なかなか書き込めない子には絵を見ながら「だれが」「何をしている」をしっかりとらえさせる。また、質問をする形でまわりの様子にも目を向けさせ、イメージを広げていく。</li> </ul> <p>【書く力】 お話メモに見つけたこと、想像したことを書くことができる。</p>

35分	発表	<p>5 お話メモを発表する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お話作りのポイントに照らし合わせながら発表を聞き、よいところを見つけあう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちのよいところで、自分も見習いたいところを見つけさせる。</li> </ul>
終末 5分	まとめる	<p>6 本時の学習をふり返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己評価をする。</li> </ul> <p>次時の学習内容を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次時はお話メモをもとに「はじめ」の場面のお話を書くことを知らせる。</li> </ul>